

2025年4月期 2Q 決算説明会

株式会社アインホールディングス

2024年12月12日

決算概要

連結P/L

各事業の前期出店及び既存店の伸長により、売上高は、前期比110.9%、計画比100.6%、経常利益は前期比67.9%、計画比88.6%となった。

(単位：百万円)	24/4期2Q 実績	25/4期2Q 計画	25/4期2Q 実績	前期増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	193,727	213,670	214,860	21,133	110.9	100.6
売上総利益	27,767	31,070	30,097	2,330	108.4	96.9
売上比 (%)	14.3	14.5	14.0			
販売管理費	19,017	24,300	24,224	5,207	127.4	99.7
売上比 (%)	9.8	11.4	11.3			
営業利益	8,749	6,770	5,872	▲2,877	67.1	86.7
売上比 (%)	4.5	3.2	2.7			
経常利益	9,338	7,150	6,338	▲3,000	67.9	88.6
売上比 (%)	4.8	3.3	2.9			
親会社株主に帰属する 中間純利益	5,257	3,800	3,212	▲2,045	61.1	84.5
売上比 (%)	2.7	1.8	1.5			
1株当たり 中間純利益 (円)	149.66	108.56	91.75	▲57.91	61.3	84.5

▶ 単位未満切り捨て

▶ 計画は24/9月開示の修正計画

ファーマシー事業 連結

高額医薬品の処方により既存店及び前期出店の処方箋単価が上昇したことで、売上高は、前期比107.6%、計画比101.2%となった。セグメント利益は調剤報酬改定の影響等により、前期比77.2%、計画比92.1%となった。

(単位：百万円)	24/4期2Q 実績	25/4期2Q 計画	25/4期2Q 実績	前期増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	173,234	184,300	186,439	13,205	107.6	101.2
売上総利益	20,144	18,700	17,854	▲2,290	88.6	95.5
売上比 (%)	11.6	10.1	9.6			
販売管理費	8,204	8,620	8,738	534	106.5	101.4
売上比 (%)	4.7	4.7	4.7			
営業利益	11,939	10,080	9,116	▲2,823	76.4	90.4
売上比 (%)	6.9	5.5	4.9			
セグメント利益	12,492	10,480	9,648	▲2,844	77.2	92.1
売上比 (%)	7.2	5.7	5.2			
店舗数	1,217	1,253	1,248	31	102.5	99.6

▶ 単位未満切り捨て

▶ 計画は24/9月開示の修正計画

▶ セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っている

リテール事業 連結

グループ入りしたFrancfrancの寄与、並びにアインズ&トルペの既存店及び前期出店の客数及び客単価が堅調に推移していることで、売上高は、前期比154.3%、計画比98.1%となった。セグメント利益は高粗利率商品の売上が伸長したことに伴い、前期比128.5%、計画比107.0%となった。

(単位：百万円)	24/4期2Q 実績	25/4期2Q 計画	25/4期2Q 実績	前期増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	14,832	23,340	22,885	8,053	154.3	98.1
売上総利益	5,674	10,170	10,293	4,619	181.4	101.2
売上比 (%)	38.3	43.6	45.0			
販売管理費	4,363	8,580	8,614	4,251	197.4	100.4
売上比 (%)	29.4	36.8	37.6			
営業利益	1,311	1,590	1,679	368	128.1	105.6
売上比 (%)	8.8	6.8	7.3			
セグメント利益	1,318	1,583	1,694	376	128.5	107.0
売上比 (%)	8.9	6.8	7.4			
店舗数	78	243	243	165	311.5	100.0

▶ 単位未満切り捨て

▶ 計画は24/9月開示の修正計画

▶ セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っている

連結B/S

Francfrancのグループ入りに伴う株式取得資金を借入により調達したことで、ネットキャッシュは▲9,399百万円となったが、自己資本比率は46.0%と、健全な財務体質を維持している。

24/4期末		(単位：百万円)	
資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	110,743	流動負債	103,232
現預金	48,611	短期借入金	3,467
固定資産	138,666	固定負債	10,765
のれん	44,066	長期借入金	3,227
繰延資産	-	純資産計	135,411
資産合計	249,409	負債・純資産合計	249,409
ネットキャッシュ		41,617	
自己資本比率 (%)		54.3	

25/4期2Q末		(単位：百万円)	
資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	101,841	流動負債	119,661
現預金	27,221	短期借入金	7,526
固定資産	194,159	固定負債	40,197
のれん	83,692	長期借入金	28,795
繰延資産	-	純資産計	136,142
資産合計	296,001	負債・純資産合計	296,001
ネットキャッシュ		▲9,399	
自己資本比率 (%)		46.0	

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ ネットキャッシュ = 現預金 - 有利子負債

資産の部

Francfrancのグループ入りによるのれんや商品の増加を主な要因とし、総資産の合計は24/4期末より46,592百万円増加した。

(単位：百万円)	24/4期2Q末	24/4期末	25/4期2Q末	増減額
現金及び預金	50,518	48,611	27,221	▲21,390
売掛金	13,643	15,852	16,947	1,095
棚卸資産	24,855	24,645	34,751	10,106
流動資産合計	108,214	110,743	101,841	▲8,902
建物及び構築物	23,624	27,122	31,616	4,494
土地	10,313	10,207	10,164	▲43
有形固定資産合計	40,677	43,450	48,800	5,350
のれん	44,634	44,066	83,692	39,626
無形固定資産合計	50,976	51,242	95,881	44,639
投資有価証券	2,900	3,345	3,093	▲252
繰延税金資産	6,046	6,403	6,952	549
敷金及び保証金	25,213	25,186	30,294	5,108
投資その他の資産合計	43,054	43,973	49,477	5,504
固定資産合計	134,708	138,666	194,159	55,493
繰延資産計	-	-	-	-
資産合計	242,922	249,409	296,001	46,592

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額（有形及び無形固定資産＋敷金・保証金）は8,505百万円

▶ 増減額：24/4期末・25/4期2Q末比較

負債・純資産の部

Francfrancのグループ入りに伴い、買掛金は9,994百万円増加し、同社の株式取得資金を調達したことにより、短期及び長期借入金は29,627百万円増加した。

(単位：百万円)	24/4期2Q末	24/4期末	25/4期2Q末	増減額
買掛金	66,556	65,506	75,500	9,994
短期借入金	3,643	3,467	7,526	4,059
流動負債合計	102,718	103,232	119,661	16,429
長期借入金	2,996	3,227	28,795	25,568
固定負債合計	10,359	10,765	40,197	29,432
負債合計	113,078	113,998	159,859	45,861
資本金	21,894	21,894	21,894	-
資本剰余金	20,499	20,131	20,128	▲3
利益剰余金	89,113	95,257	95,643	386
株主資本合計	129,524	134,847	135,447	600
純資産合計	129,844	135,411	136,142	731
負債純資産合計	242,922	249,409	296,001	46,592

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額：24/4期末・25/4期2Q末比較

連結CF

Francfrancのグループ入りにより、投資キャッシュフローが54,045百万円となったが、現金及び現金同等物期末残高は27,199百万円と、潤沢なキャッシュを維持している。

(単位：百万円)	24/4期2Q	25/4期2Q	増減額
営業キャッシュフロー	14,094	12,729	▲1,365
税金等調整前中間純利益	9,427	6,728	▲2,699
減価償却費	2,929	3,711	782
のれん償却額	2,177	2,573	396
売上債権増減額（▲は増加）	▲286	2,094	2,380
棚卸資産増減額（▲は増加）	▲3,232	▲3,085	147
未収入金増減額（▲は増加）	▲3,557	▲1,979	1,578
仕入債務増減額（▲は減少）	7,759	5,920	▲1,839
投資キャッシュフロー	▲5,793	▲54,045	▲48,252
有形・無形固定資産取得による支出	▲5,320	▲6,334	▲1,014
子会社株式取得による支出	▲295	▲46,471	▲46,176
財務キャッシュフロー	▲4,237	20,135	24,372
現金及び現金同等物増減額	4,063	▲21,182	▲25,245
現金及び現金同等物期末残高	50,280	27,199	▲23,081

▶ 単位未満切り捨て

事業価値分析

	24/4期2Q	24/4期	25/4期2Q	増減
自己資本比率 (%)	53.4	54.3	46.0	▲7.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	61.3	83.8	59.9	▲1.4
株価収益率 (倍) PER	14.17	18.39	27.56	13.39
1株当たり当期純利益 (円) EPS	149.66	324.64	91.75	▲57.91
株価純資産倍率 (倍) PBR	1.16	1.56	1.32	0.16
1株当たり純資産 (円) BPS	3,693.46	3,866.55	3,883.38	189.92
総資産利益率 (%) ROA	2.2	4.7	1.2	▲1.0
株主資本利益率 (%) ROE	4.1	8.7	2.4	▲1.7
EBITDA (百万円)	13,855	31,318	12,157	▲1,698
EV/EBITDA倍率 (倍)	7.89	5.47	15.70	7.81
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.34	▲0.31	0.07	0.41
ネットキャッシュ (百万円)	43,578	41,617	▲9,399	▲52,977
株主価値 (百万円)	152,906	212,914	181,459	28,553
時価総額 (百万円)	149,032	208,916	177,162	28,130

- ▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減: 24/4期2Q・25/4期2Q比較
- ▶ ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (有利子負債 - 現金及び預金) / 株主資本
- ▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債
- ▶ 株主価値 = EV (時価総額 + 有利子負債 - 余剰現金) - 純有利子負債
- ▶ 時価総額: 自己株式を除く
- ▶ 時価総額算出株価: 24/4期2Q末4,242円 (23/10月末) 24/4期末5,970円 (24/4月末) 25/4期2Q末5,057円 (24/10月末)

25/4期 計画（連結）

ファーマシー事業及びリテール事業の新規出店並びにFrancfrancのグループ入りにより、売上高は前期比113.4%、人的資本及びDXへの投資により、経常利益は前期比93.6%を見込む。

(単位：百万円)	23/4期 実績	24/4期 実績	25/4期 計画	前期増減額	前期比（%）
売上高	358,742	399,824	453,500	53,676	113.4
売上総利益	53,698	59,522	76,200	16,678	128.0
売上比（%）	15.0	14.9	16.8		
販売管理費	37,694	39,090	56,840	17,750	145.4
売上比（%）	10.5	9.8	12.5		
営業利益	16,004	20,432	19,360	▲1,072	94.8
売上比（%）	4.5	5.1	4.3		
経常利益	17,064	21,377	20,000	▲1,377	93.6
売上比（%）	4.8	5.3	4.4		
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,234	11,401	10,000	▲1,401	87.7
売上比（%）	2.6	2.9	2.2		
1株当たり 当期純利益（円）	262.87	324.64	285.68	▲38.96	88.0
年間配当金（円）	60.00	80.00	80.00	-	100.0

▶ 単位未満切り捨て ▶ 計画は24/9月開示の修正計画

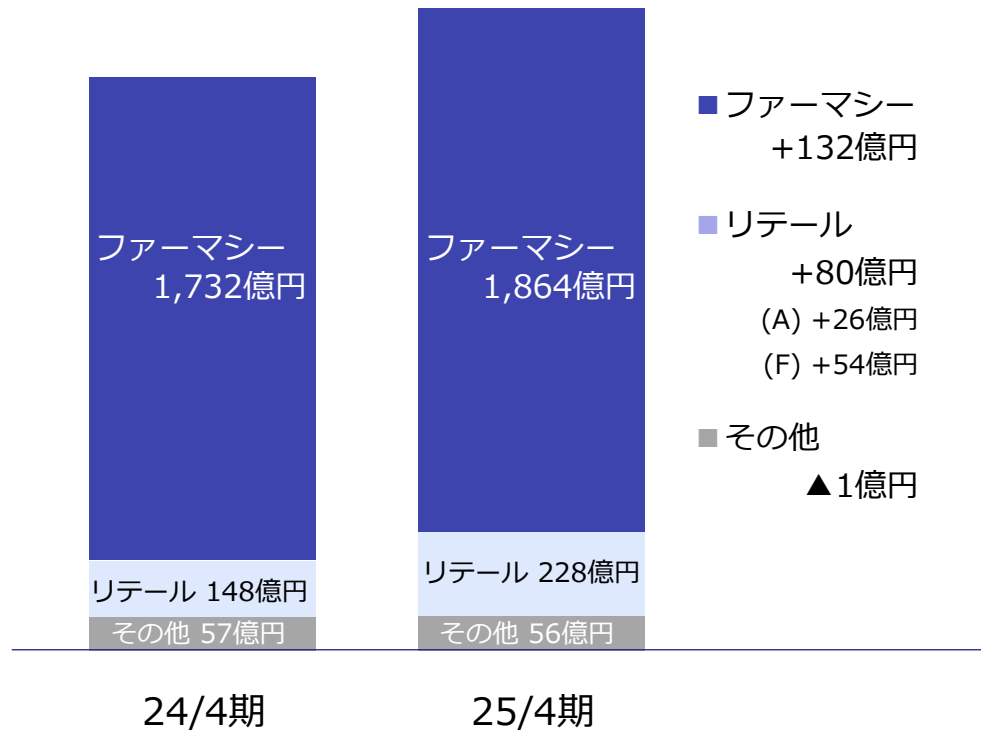
Review

連結 対前期実績

ファーマシー事業のGE医薬品の供給不安定の影響、調剤報酬改定、労務費の増加等により、経常利益は30億円の減益となった。

売上高

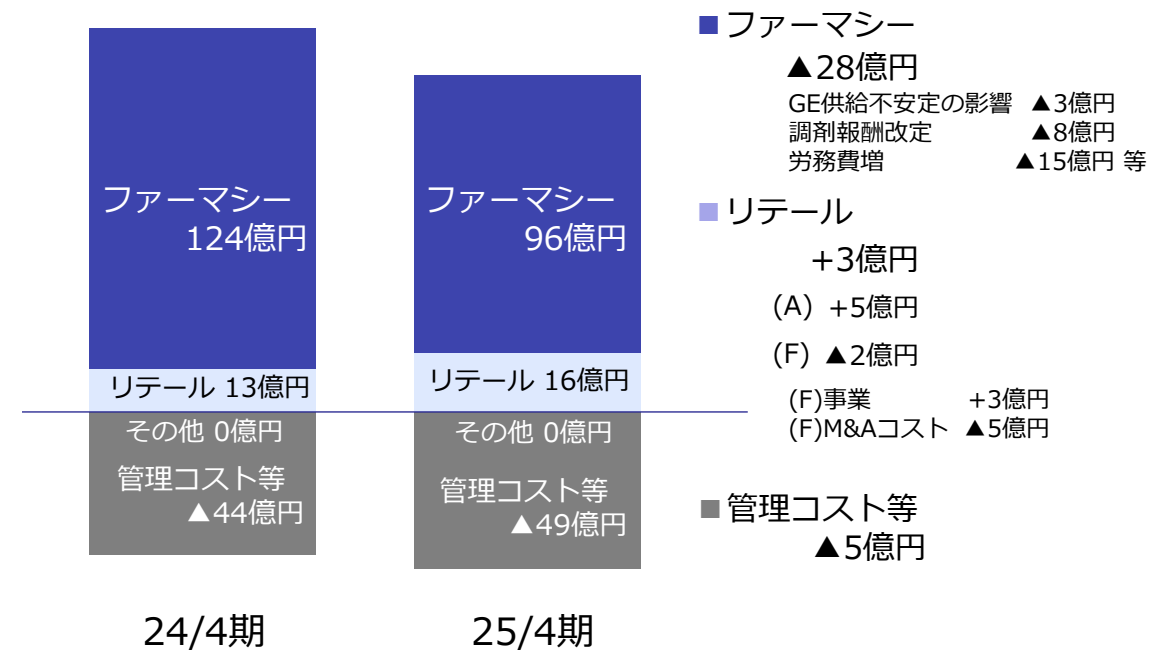
1,937億円 → 2,148億円 +211億円 (+10.9%)



▶ (A) アインズ&トルペ (F) Francfranc

経常利益

93億円 → 63億円 ▲30億円 (▲32.1%)



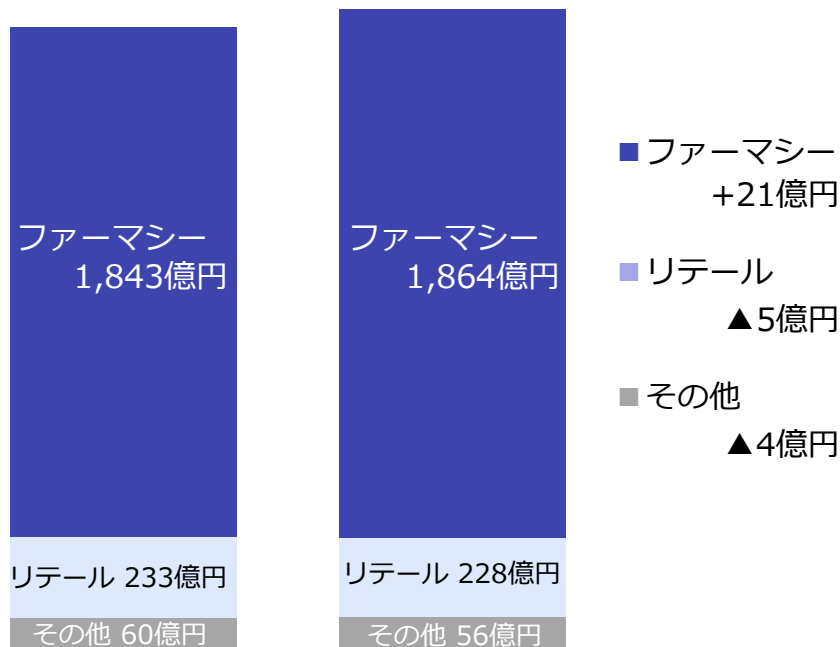
▶ 利益に対して減少：▲表記

連結 対修正計画

ファーマシー事業の労務費増、GE医薬品の供給不安定の影響、調剤報酬改定等により、経常利益は計画に対し8億円の減益となった。

売上高

2,136億円 → 2,148億円 +12億円 (+0.6%)

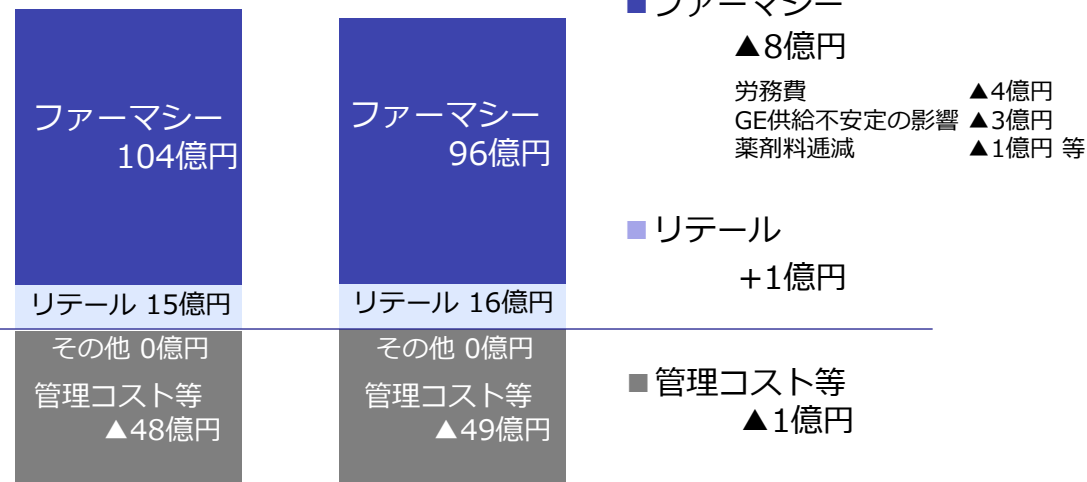


25/4期
計画

25/4期
実績

経常利益

71億円 → 63億円 ▲8億円 (▲11.4%)



25/4期
計画

25/4期
実績

▶ 利益に対して減少：▲表記

出退店

■ 実績及び計画

		25/4期2Q			25/4期
		計画	実績		見込
出店	ファーマシー	36	31		80
	うちオーガニック	16	16		40
	M&A	20	15		40
	リテール	165	165		182
	うちアインズ&トルペ	4	4		16
	Francfranc	161	161		166
合計		201	196		262
閉店	ファーマシー	14	14		47
	リテール	3	3		3
	合計	17	17		50

■ ファーマシー出退店推移

	17/4期	18/4期	19/4期	20/4期	21/4期	22/4期	23/4期	24/4期	25/4期2Q
オーガニック	27	25	23	14	15	25	27	19	16
M&A	182	11	134	6	14	24	114	21	15
EV/EBITDA倍率	5.50	3.96	4.88	3.71	3.74	4.13	6.55	4.41	4.73
閉店	22	41	24	22	18	10	24	13	4
譲渡	2	32	30	42	34	5	7	5	10
店舗数	1,066	1,029	1,132	1,088	1,065	1,099	1,209	1,231	1,248

▶ EV/EBITDA倍率=EV（M&A：買収価格）/EBITDA（営業利益+減価償却費）

Strategy

Strategy

25/4期 事業収益へのフォーカス

- ギャップの解消
- Francfrancとのシナジー

トップラインの拡大

- ファーマシー事業戦略
 - オーガニック出店とM&Aの活用
- リテール事業戦略
 - アインズ&トルペ + Francfranc
 - オーガニック出店とM&Aの活用

経営基盤の強化

- 人的資本
- DX投資
- サステナビリティ経営
- 資本・財務戦略

ギャップの解消

ファーマシー事業での技術料算定の見込み、リテール事業の好調な推移に加え、25/4期3Qに実施済みのコストコントロールにより、通期計画達成を見込む。

■ 利益未達要因



■ 通期計画とのギャップの解消

1. 技術料の適正算定

DX推進体制整備加算	+3億円
後発医薬品調剤体制加算	+2億円

+5億円

2. リテール事業の上振れ

アインズ&トルペ	+1億円
Francfranc	+3億円

+4億円

3. コストコントロール

薬局の運営効率の改善	+7億円
WSS等でのGE調達の改善	+4億円
経費のコントロール	+1億円
小規模店舗の撤退	+1億円

+13億円

合計 +22億円

通期計画200億円の
達成を見込む

Francfrancとのシナジー

24/8月にグループ入りしたFrancfrancとのPMIを実施している。トップラインの拡大及び経営基盤の強化において、さまざまなシナジーを発揮していく。

トップラインの拡大	クロス マーチャダイジング	■ インショップ形態による双方のPB陳列 ■ 相互顧客データ分析
	戦略的な店舗開発	■ 隣接出店による店舗網拡大 ■ 出店基準見直しによるターゲット拡大
	ノウハウの共有による 魅力的な商品開発	■ 限定商品の展開 ■ 新しいPBの開発
経営基盤の強化	管理部門の統一	■ グループマネジメントによる管理部門スリム化 ■ 契約一本化による経費削減
	購買・製造の効率化	■ 共同仕入れによる効率的な購買 ■ PB製造委託先の統一
	DX・物流の連携	■ 双方のノウハウを活かしたDX連携 ■ 共同配送による物流の効率化

上期オーガニック出店実績

出店店舗数

16店舗



さんむ医療センター（24/9月開局）



北海道大学病院（24/6月開局）



九州大学病院（24/6月開局）



北里大学メディカルセンター（24/10月開局）



下期オーガニック出店予定

出店店舗数

24店舗

通期合計40店舗



熊本大学病院（24/12月開局）



A病院（25/4月開局予定）



俱知安厚生病院（24/11月開局）



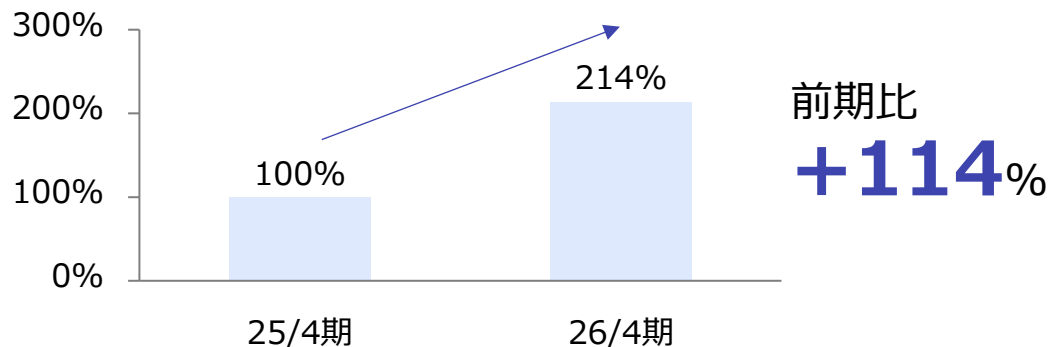
B病院（25/4月開局予定）



オーガニック出店とM&Aの活用

オーガニック出店及びM&Aの積極的な活用により、堅調に事業規模を拡大している。ファーマシー事業は30/4期までに売上高5,000億円を目指す。

■ 25/4期出店 売上高増加率



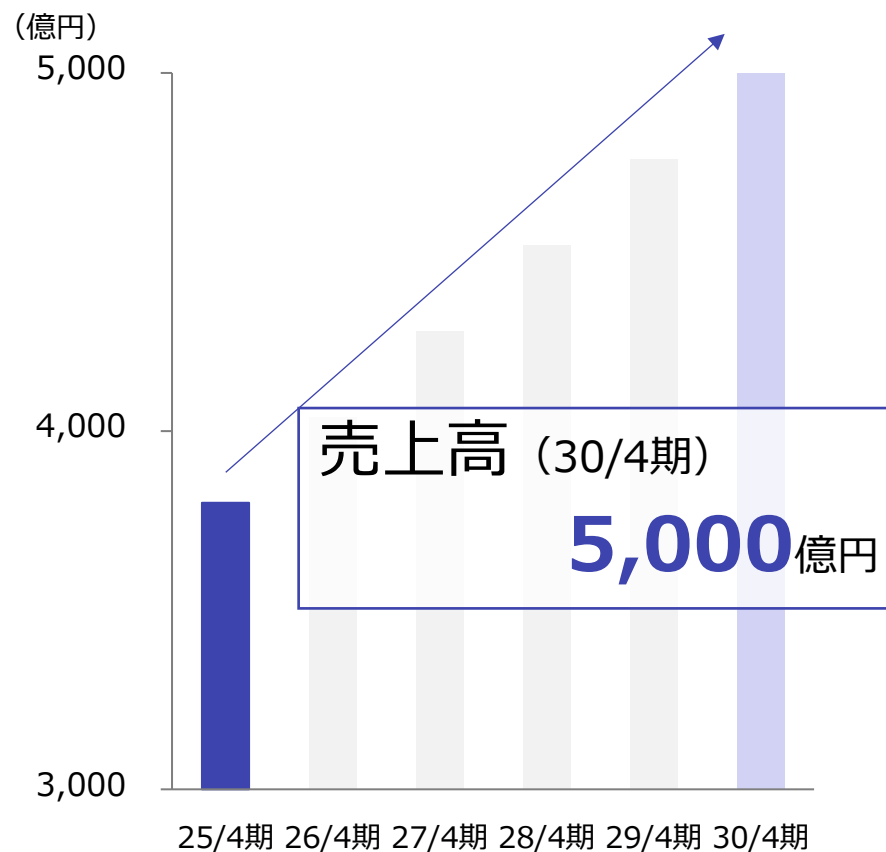
- ▶ 25/4期 売上高を100%として増加率を算出
- ▶ 2024年12月12日時点で確定しているオーガニック出店及びM&Aで試算

(参考) M&A実績

法人名	所在地	店舗数	売上規模	時期
1. (株)ダイチク	新潟県	18店舗	約100億円	07/4期
2. (株)あさひ調剤	埼玉県	86店舗	約160億円	08/4期
3. (株)西日本ファーマシー	香川県	38店舗	約100億円	16/4期
4. (株)コム・メディカル	新潟県	56店舗	約90億円	19/4期
5. (株)土屋薬品他	長野県	37店舗	約90億円	19/4期
6. (株)ファーマシィ	広島県	101店舗	約240億円	23/4期

- ▶ 25/4期2Qまでにファーマシー事業では上記を除く255件のM&Aを実施

■ 中期目標



アイズ&トルペ + Francfranc 1

2024年11月15日、アイズ&トルペ 新千歳空港店ヘインショップの形態にて、約180SKUのFrancfranc商品を展開した。国外からの旅行客ニーズを中心とした商品構成により、売上高は好調に推移している。



アイズ&トルペ + Francfranc 2

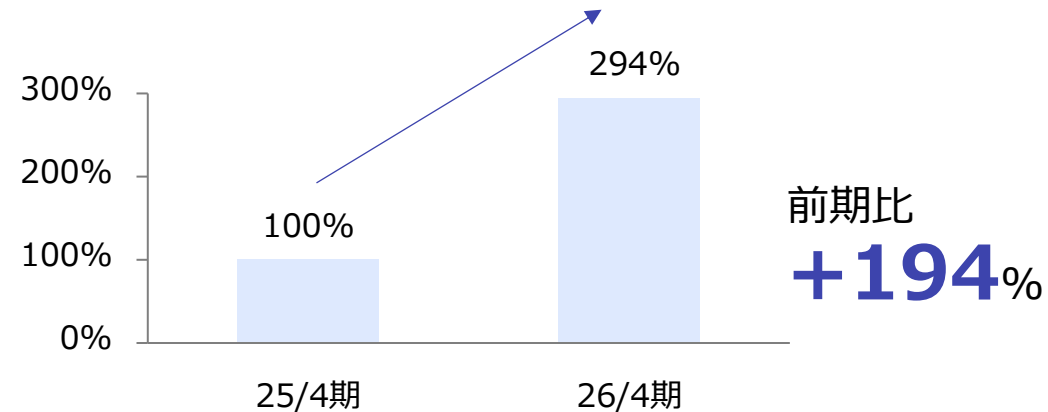
2024年11月29日、アイズ&トルペ コレットマーレ桜木町店に隣接したFrancfranc店舗を出店した。お客さまにさらなるワクワクをお届けするトータルライフスタイル提案型の新たな価値の提供に取り組んでいる。



オーガニック出店とM&Aの活用

24/8月、Francfrancを当社グループに迎え、25/4期、アインズ&トルペ 16店舗、Francfranc 6店舗の出店を計画している。リテール及びその他事業は、30/4期までにM&Aを含め売上高2,000億円を目指す。

■ 25/4期出店 売上高増加率

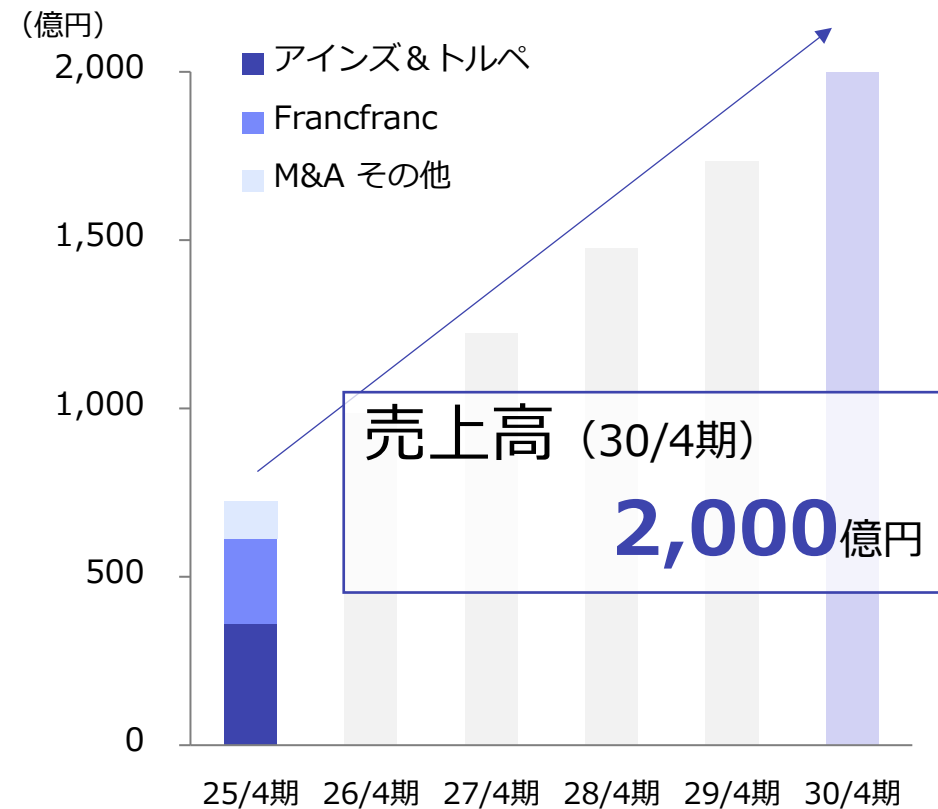


- ▶ 25/4期 売上高を100%として増加率を算出
- ▶ 2024年12月12日時点で確定しているオーガニック出店で試算

(参考) M&A実績

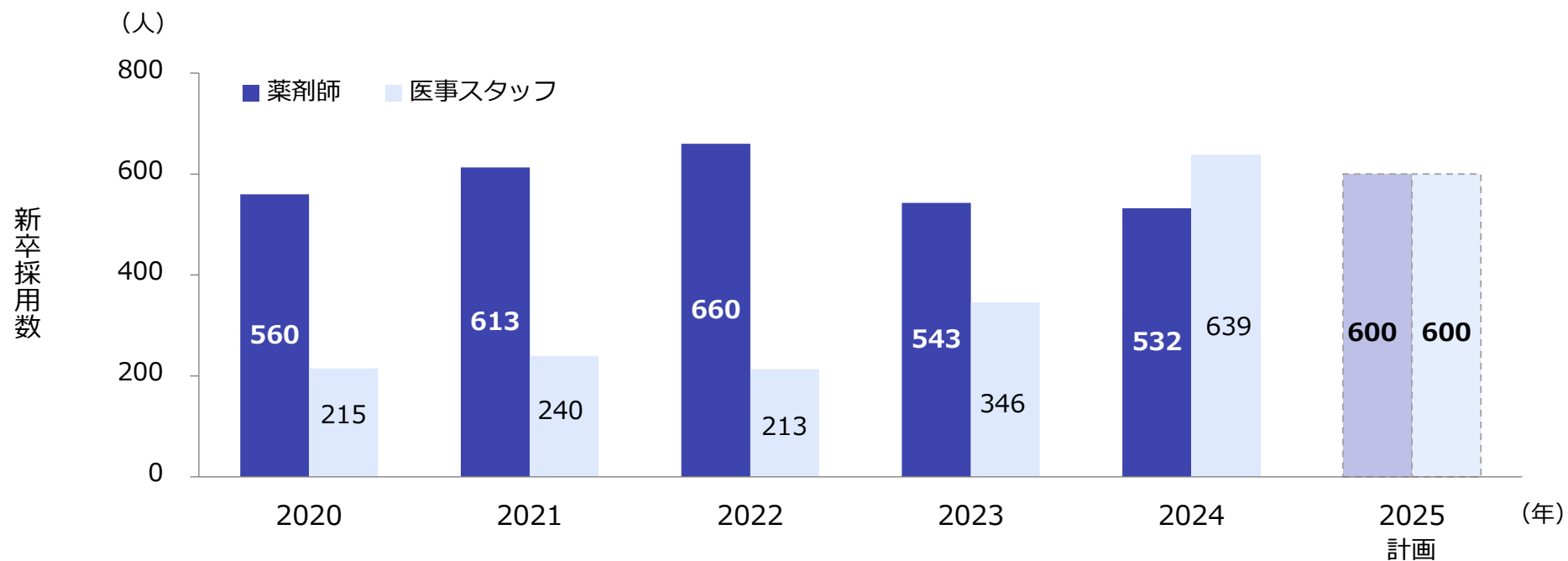
法人名	所在地	店舗数	売上規模	時期
1. (株)Francfranc	東京都	161店舗	約400億円	25/4期

■ 中期目標



人的資本

25/4月の新卒採用は薬剤師600人、医事スタッフ600人を計画している。24/10月開催の内定式には総勢1,333人が参加し、現時点では計画通りの採用数を見込む。



ナショナル及び 広域エリア社員 (薬剤師数)	230	212	226	361	325	236
比率	41.1%	34.6%	34.2%	66.5%	61.1%	39.3%

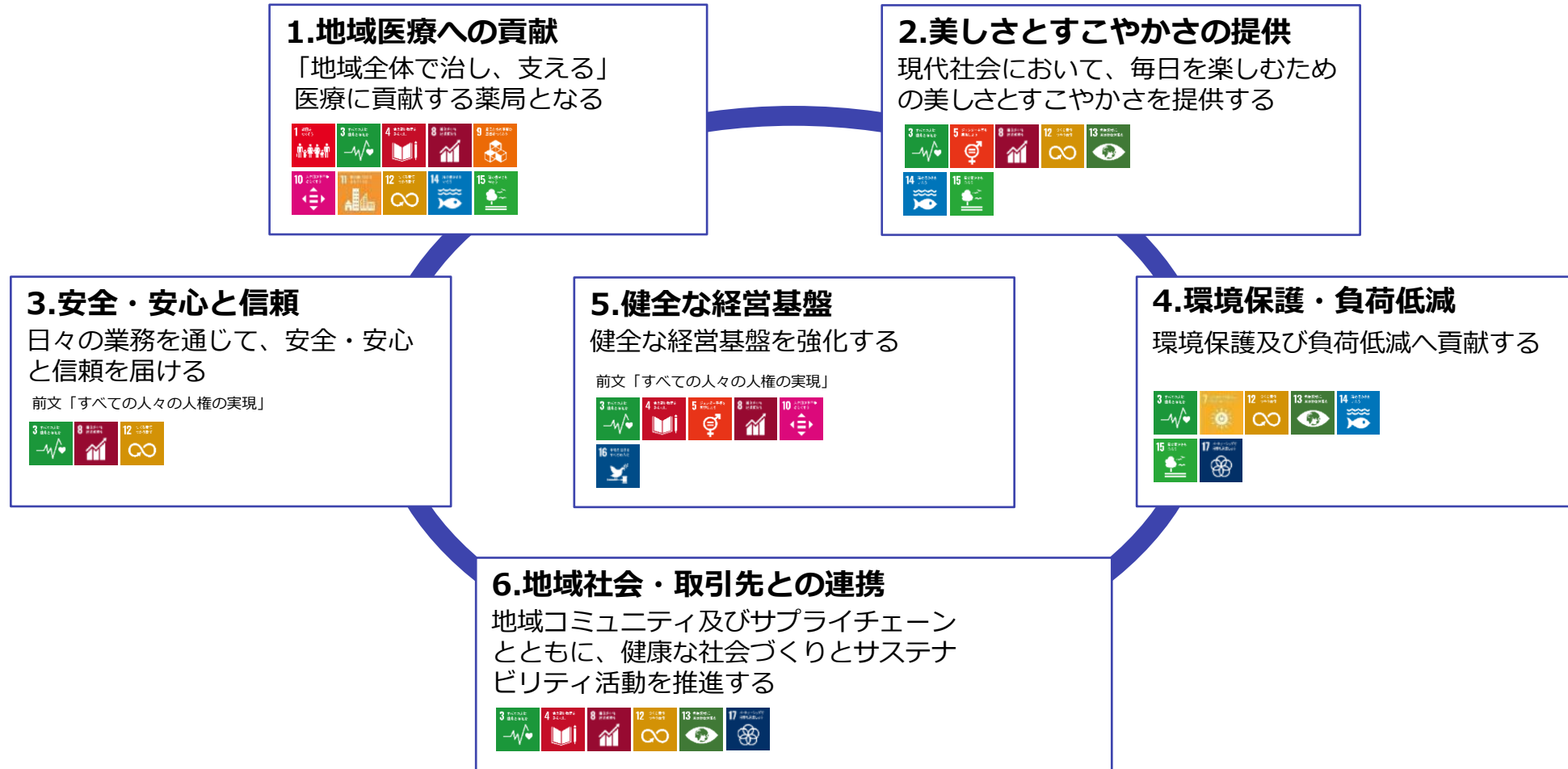
DX投資 中期施策

各事業及び全社において、事業規模拡大に向けたDX施策やITを活用した業務の高度化等を、27/4期までの中期施策として設定し、当社グループだからこそできる付加価値の提供と運営効率の向上につなげていく。

中期施策		25/4期	26/4期	27/4期
ファーマシー	薬局業務DX推進・サービス強化	生成AI搭載 電子薬歴システム導入		
	次世代店舗デジタルサービス実現		アプリ機能の拡充	
リテール	店舗業務DX推進・サービス強化	次世代POS・セルフレジ導入		
	デジタルマーケティング促進		アプリ利用者へのサービス訴求の実現	
全社	バックオフィス業務自動化	RPA・生成AIを活用した業務高度化・効率化		
	システム刷新	共通プラットフォームの高度化		

サステナビリティ経営 1

人々の健康や美に貢献する事業を通じ、グループ・ステートメントでもある「お客さまの元気と笑顔」を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってきた。これからも、お客さまをはじめ 多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変化し行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現する。



サステナビリティ経営 2

サステナビリティ委員会では、約30のプロジェクトチームがマテリアリティごとに組織横断の取り組みを推進し、全社で持続可能な社会の実現に向け取り組んでいる。

人的資本経営戦略マップ・KPI開示

ビジョン及びステートメントを踏まえ、企業戦略及びマテリアリティをもとに、戦略に紐づく人的資本関連施策を整理し、各種KPIを開示。



再生可能エネルギー利用

24/12月より、関西及び北陸の薬局にて、太陽光発電を活用したオフサイト型コーポレートPPAの仕組みによる電力の導入を開始。



プラチナえるぼし認定の取得

24/6月、「女性活躍推進法」に基づき女性の活躍推進に取り組む、特に優良な企業としてが「プラチナえるぼし認定」を取得。



外部評価（ESGインデックス）の選定

- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN） 等



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

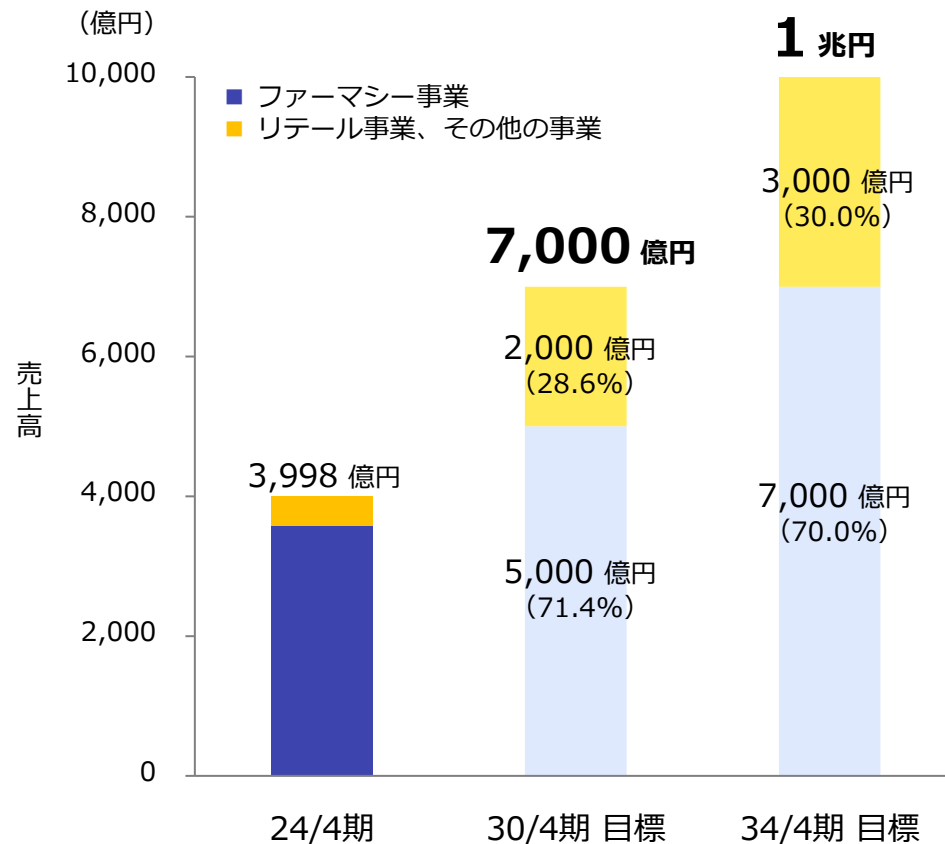
2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

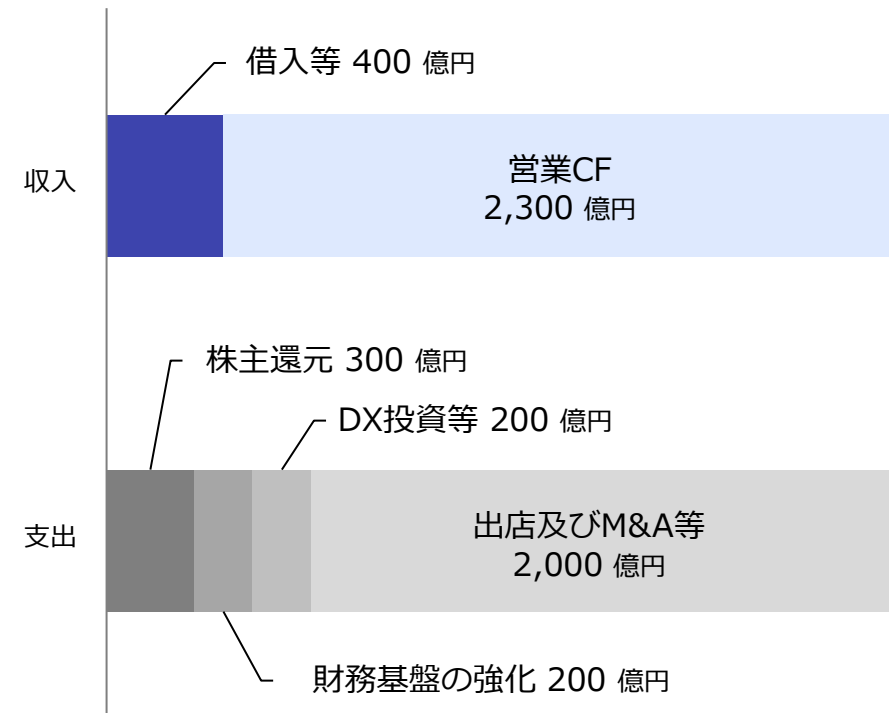
資本・財務戦略

2024年12月5日に開示した統合報告書2024において、中長期的な成長投資の数値目標として30/4期 連結売上高 7,000億円、34/4期 連結売上高 1兆円と設定。これらの目標達成に向け、資本を適切に配分していく。

■ 売上高目標



■ キャッシュアロケーション (25/4期から30/4期累計)



25/4期 計画（連結）

ファーマシー事業及びリテール事業の新規出店並びにFrancfrancのグループ入りにより、売上高は前期比113.4%、人的資本及びDXへの投資により、経常利益は前期比93.6%を見込む。

(単位：百万円)	23/4期 実績	24/4期 実績	25/4期 計画	前期増減額	前期比（%）
売上高	358,742	399,824	453,500	53,676	113.4
売上総利益	53,698	59,522	76,200	16,678	128.0
売上比（%）	15.0	14.9	16.8		
販売管理費	37,694	39,090	56,840	17,750	145.4
売上比（%）	10.5	9.8	12.5		
営業利益	16,004	20,432	19,360	▲1,072	94.8
売上比（%）	4.5	5.1	4.3		
経常利益	17,064	21,377	20,000	▲1,377	93.6
売上比（%）	4.8	5.3	4.4		
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,234	11,401	10,000	▲1,401	87.7
売上比（%）	2.6	2.9	2.2		
1株当たり 当期純利益（円）	262.87	324.64	285.68	▲38.96	88.0
年間配当金（円）	60.00	80.00	80.00	-	100.0

▶ 単位未満切り捨て ▶ 計画は24/9月開示の修正計画

本件に係る照会先

**株式会社アインホールディングス
経営企画室**

TEL03-5333-1812

<https://www.ainj.co.jp/corporate/>

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



AIN GROUP